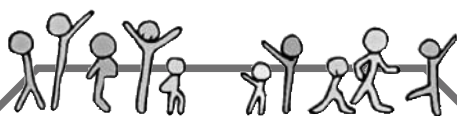


報、日本にはない文化の体験、参加前より広がった視野など、今後役に立つものを多く手に入れることができた。それだけでなく、一生忘れない素晴らしい思い出ができた。これらを活かして今後の英語学習、日常生活を充実させようと思う。



ハンザ都市・ブレーメン

文学部4年 小林 裕之

ブレーメンという街を知っていますか？

ドイツ北部にあり、ドイツにある16の州のうち、一番小さな州（ブレーメン州）の州都です。人口はおよそ56万人です。

下の写真は、旧市街の中心地である、マルクト広場です。12月になると、ここではクリスマスマーケットが開催され、とても多くの地元の人、観光客がここを訪れます。



愛知大学が提携している、ブレーメン経済工科大学（Hochschule Bremen）はこのマルクト広場から歩いて約10分のところにあります。そのため、そこの学生は、授業の空き時間や授業後になると、よくここへ行き、買い物をしたりなど、それぞれが楽しんでいます。そして、ブ



レーメンと聞いて、一番に思いつくのは「ブレーメンの音楽隊」だと思います。有名な像なので、とても大きなものとイメージするかもしれませんが、とても小さく、市庁舎の横に立っています。実際に、自分もこの像を見つけるのに時間がかかりました。この音楽隊像だけではなく、ブレーメンにはたくさんの有名なものがあり、例えば、Beck'sというビール、HACHEZというチョコレート、ドイツサッカー・ブンデスリーガに所属するWerder Bremen。また、このチームには日本代表・大迫勇也選手も所属しています。

個人的には、ブレーメンは大きすぎず、1年間の留学で訪れるにはぴったりだと思います。また、ブレーメンから電車で約1時間半のところにはハンブルクというドイツ第2の都市があります。

ドイツ最大の港町でもあり、たくさんの観光客が訪れる、とてもおすすめしたい都市です。

ここで紹介できるのはごくわずかで、ブレーメン、さらにドイツにはまだまだたくさんの魅力的な場所があります。また、90日以内であればビザ無しで滞在することもできるので、短期語学留学など行きやすい国だと思います。若い時に海外を経験することは、とても有意義なものになると思うので、迷っている方・少しでも興味がある方は、「今」を充実させるためにも思い切ってチャレンジしてみてください！